

共生・協働の地域社会づくり

大口市 自治会

《問い合わせ》 ☎099-551-2200

◎針持校区コミュニティ協議会

校区の力を再び！

大口市南部の周囲を山野に囲まれた風光明媚な場所に「針持校区コミュニティ協議会」の事務局がある。隣接する針持小学校は児童数18人の小規模校。校区内の人口は900人弱で住民の約半数が65歳以上の高齢者である。

「コミュニティ協議会」は、少子・高齢化の影響によりコミュニティ活動の衰退が懸念されたことから、行政との協働のもとで市民が主体となった地域づくりを推進するための組織。平成19年度から大口市が市内11の小中学校を単位として、公民会（単位自治会）のほか校区内の各種団体を構成員として設立された。市は、コミュニティ協議会の活動に対して補助金を交



▲針持校区コミュニティ協議会事務局
（旧幼稚園庁舎を活用）

付しているほか、校区出身者をサポート職員として配置するなどコミュニティ協議会の自主的な活動に対する支援を行っている。

針持校区コミュニティ協議会は活動が盛んな協議会のひとつである。設立当初、県の企画公募事業で採択された独身男女の出会いのためのイベント「出会いサポート事業」を実施した。「イベント開催は初めてのこと、苦労は多かったですが、住民同士が会場づくりなどの準備や当日の世話役など協力し、校区住民が一体化しました」と語るのは吉永事務局長。

また、今までは小学校の入学式・卒業式にはPTAの関係者のみが参列していたが、最近はその他の校区住民も参列し賑やかに入学・卒業を祝うなど、校区住民の一体化の効果が現れている。

コミュニティ協議会の活動は多岐にわたるが、特に女性が元気になる。その活動のひとつが「にこにこダンベル針持少女会」。市の介護予防事業で実施している「ダンベル体操」の女性参加者が中心となり、体操教室への参加にとどまらず、夏祭りや運動会などへも参加してダンベル体操を披露しているほか、清掃活動なども積極的にしている。また、高齢者の生きがい対

策として行われる「いきいきサロン」で制作した人形や壁掛けなどを、3月の雛祭り、5月の端午の節句、7月の七夕祭りなど季節の行事を校区で開催する際に飾るなど、さまざまな活動の輪が広がりをみせ、これまで家に閉じこもりがちだった一人暮らしの方々も積極的に参加しているという。「おとなしい高齢者のやる気に火を付けたようなものですよ」と瀬戸口会長。

今後の活動については、「景観がすばらしいピンクそば畑づくりと、ピンクそばの特産品化、針持の焼酎づくりに取り組むたい。これから、若い方や男性の活躍の機会が増えると思います」と力強い。



▲にこにこダンベル針持少女会



コミュニティ協議会のみなさん

これからも、知恵とアイデアを出し合っていきます。



▲飾りが鮮やかな端午の節句の集い

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進室（県庁市町村課内） ☎099-286-2241

◎共生・協働センター（かごしま県民交流センター内） ☎099-221-6605

関連情報は、県ホームページの「共生・協働（NPO・ボランティア）」にも掲載しています。